

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	後期高齢者医療事務費負担金に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	6	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	保険年金課			
施策	115安心して暮らせる社会保障の充実	担当課室長	田中 芳雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	負担金の額は、広域連合規約第18条により、負担割合が①均等割10%②市の人口割40%③市の後期高齢者人口割50%と定められている。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	広域連合規約に基づき、負担金を支出する。(均等割・市の人口割・市の後期高齢者人口割)
②①に基づく取組み結果	広域連合規約第18条により市町村負担金を納付した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	後期高齢者医療保険被保険者	意図(対象をどうするのか)	後期高齢者医療被保険者が安心して医療を受けることができる。
②事務事業の概要	千葉県後期高齢者医療広域連合規約第18条の規定により、平成25年度分市町村負担金を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	H20年4月後期高齢者医療制度が創設されたが、年々被保険者数が増加し財源を確保するのがむずかしくなっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	後期高齢者医療広域連合の共通経費として広域連合市町村負担金25,348千円を負担した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	決算見込額÷受給者数	2,806	2,856	2,430	円	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	28,163	25,348	金額(千円)	内容	30,692		
国支出金(千円)			25,348	広域連合市町村負担金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	28,163	25,348			30,692		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	負担金の額は、広域連合規約第18条により決まっており被保険者の増加により財源を確保するのがむずかしい。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	広域連合規約により、負担している。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	後期高齢者医療費負担金に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	6	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	保険年金課			
施策	115安心して暮らせる社会保障の充実	担当課室長	田中 芳雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	高齢者の医療の確保に関する法律第98条により、市の医療費負担は、法定負担割合の12分の1を負担することになっている。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	高齢者の医療の確保に関する法律第98条に基づき、負担金を支出する。(法定負担割合12分の1)
②①に基づく取組み結果	高齢者の医療の確保に関する法律第98条により、市町村負担金を納付した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	後期高齢者医療保険被保険者	意図(対象をどうするのか)	後期高齢者医療被保険者が安心して医療を受けることができる。
②事務事業の概要	高齢者の医療の確保に関する法律第98条の規定により平成25年度後期高齢者医療費を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	H20年4月後期高齢者医療制度が創設されたが、年々被保険者数が増加し財源を確保するのがむずかしくなっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	鎌ヶ谷市が負担すべき後期高齢者療養給付費負担金616,560千円を千葉県後期高齢者医療広域連合に負担した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	決算見込額÷受給者数	56	54	59	千円	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	537,347	616,560	金額(千円)	内容	612,858		
	国支出金(千円)		616,560	療養給付費負担			
	県支出金(千円)						
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	537,347	616,560		612,858		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	被保険者の増加により財源を確保するのがむずかしくなっている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	高齢者の医療の確保に関する法律により、負担している。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越
		H24⇒25繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	後期高齢者保健事業に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	6	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	保険年金課			
施策	115安心して暮らせる社会保障の充実	担当課室長	田中 芳雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	国の実施基準に基づき、健康診査を個別形式で行う。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	国の実施基準に基づき、健康診査を個別形式で行う。
②①に基づく取組み結果	各病院に対して説明会を開催。広報・市のホームページに健康診査の内容についての説明を掲載。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	後期高齢者医療保険被保険者	意図(対象をどうするのか)	生活習慣病等の早期発見
②事務事業の概要	後期高齢者医療被保険者を対象に、保険者である千葉県後期高齢者医療広域連合との委託契約に基づき、市が受託事業として後期高齢者健康診査を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	H20年4月後期高齢者医療制度が創設されたことにあわせ、疾病予防、健康の保持・増進、医療費の増大にも資することから開始。医療費の抑制を目的として保健師による健康相談、巡回指導など市の保健事業の取組みが求められる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)受診対象者 10,318人 (2)受診者 3,638人 (3)受診率 35.26%																														
②成果を表す指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名称</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>単位</th> <th>算定根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>i 決算見込額÷受給者数</td> <td>3,128</td> <td>3,049</td> <td>3,157</td> <td>円</td> <td>業務取得</td> </tr> <tr> <td>ii</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>iii</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠	i 決算見込額÷受給者数	3,128	3,049	3,157	円	業務取得	ii						iii											
指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠																										
i 決算見込額÷受給者数	3,128	3,049	3,157	円	業務取得																										
ii																															
iii																															
③事務事業のコスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費(千円)</th> <th>平成24年度決算</th> <th>平成25年度決算</th> <th>平成25年度決算(事業費)の主な内訳 金額(千円)</th> <th>内容</th> <th>平成26年度予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国支出金(千円)</td> <td></td> <td></td> <td>232</td> <td>印刷製本費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金(千円)</td> <td></td> <td></td> <td>682</td> <td>通信運搬費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債その他(千円)</td> <td></td> <td></td> <td>32,021</td> <td>委託料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源(千円)</td> <td>30,059</td> <td>32,935</td> <td></td> <td></td> <td>52,903</td> </tr> </tbody> </table>	事業費(千円)	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳 金額(千円)	内容	平成26年度予算	国支出金(千円)			232	印刷製本費		県支出金(千円)			682	通信運搬費		市債その他(千円)			32,021	委託料		一般財源(千円)	30,059	32,935			52,903
事業費(千円)	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳 金額(千円)	内容	平成26年度予算																										
国支出金(千円)			232	印刷製本費																											
県支出金(千円)			682	通信運搬費																											
市債その他(千円)			32,021	委託料																											
一般財源(千円)	30,059	32,935			52,903																										

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	受診率を上げることが課題である。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	1低い	iv 効率性	1低い	6精査・検証
③上記評価の理由	国の施策として、医療費の抑制を目的として健康診査以外の事業(保健師の巡回指導)が求められる。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越
		H24⇒25繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	国民年金事務に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	1	7	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	保険年金課			
施策	115安心して暮らせる社会保障の充実	担当課室長	田中 芳雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	国民年金に対する住民の不満や不安を軽減するため、迅速かつ正確な対応に努める。 国民年金制度の周知を図る。 相談業務の充実を図る。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	度重なる法改正に対応し、年金事務所と連携を取りながら効率的に業務を遂行する。
②①に基づく取組み結果	人員の業務委託を継続して実施。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内に住所のある20歳以上60歳未満の被用者年金制度に加入していない者、障害年金を受給している者。	意図(対象をどうするのか)	被保険者に関する正確な記録を管理することにより、情報の提供、周知が可能となり滞納者及び無年金者の減少につながる。
②事務事業の概要	国民年金被保険者の資格異動処理事務、老齢基礎年金・障害基礎年金等の裁定請求事務、保険料免除申請事務、年金相談事務等の法定受託事務を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	年金制度に対する不信による滞納者、無年金者の増加や高齢化、滞納者の増加等による支給額の引き下げ及び保険料の引き上げが見込まれる。各種届け出の簡素化、省略化や年金相談業務の充実を求められることが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	無年金や滞納者の増加防止のため主に失業者を対象に免除申請を勧めたことにより4000件を超える申請免除を受け付けた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	国民年金被保険者数	25,887	25,516	24,872	人	国民年金事業統計表
	ii	国民年金保険料納付率	56.6	56.1	58.8	%	国民年金事業統計表
	iii	国民年金保険料免除件数	3,303	3,096	4,135	件	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	7,686	6,959	金額(千円)	内容	8,059		
国支出金(千円)	7,686	6,959	4,793	国民年金業務委託	8,059		
県支出金(千円)			1,739	国民年金オンライン			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)							

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	加入届や免除申請等受付件数が年々増加する中で、いかに効率的かつ低コストで処理できるかが今後の課題。					
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	法定受託事務という位置づけであるが、業務手法等について検証の上、継続することが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生活保護に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	3	3	2	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	社会福祉課			
施策	115安心して暮らせる社会保障の充実	担当課室長	高橋 徹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	生活保護制度は国の法定受託事務であるため、市単独で改革することは不可能である。また生活保護世帯の増減については、景気の状態をそのまま反映するためのコントロールすることは難しい。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	平成27年度より自立支援制度が本格導入されるため、平成27年4月実施に向けて準備が必要である。
②①に基づく取組み結果	経済の一部には回復の傾向が見られるが、生活に困窮する者は減少せず、生活保護世帯は増加している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	生活保護受給世帯。	意図(対象をどうするのか)	自立支援。
②事務事業の概要	日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、生活に困窮する者に対して、困窮の程度に応じ、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、生業扶助及び葬祭扶助の給付を行い、最低限度の生活を保障し、併せて自立を助長する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	年金の受給権のない高齢者や働けない者の増加により、今後とも生活保護受給者の増加は見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果						
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 生活保護受給世帯	788	870	921	世帯	業務取得
	ii 年間訪問件数	2,995	3,155	3,183	回	業務取得
	iii 年間の一世帯あたりの訪問件数	4	4	3	回	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	2,027,078	2,190,425	金額(千円) 内容		2,592,505	
国支出金(千円)	1,628,081	1,719,228	2,190,425		1,943,930	
県支出金(千円)	49,725	47,422			49,725	
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	349,272	423,775			598,850	

＜資料提出等(中央決定)＞

事務事業	115	115	115	115	115	115
事業費	2,027,078	2,190,425	2,190,425	2,190,425	2,592,505	2,592,505

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	昨年に比べ、生活保護受給世帯数に対して、廃止件数が伸び悩んでおり、受給期間の長期化が懸念される。				
②評価	i 市関与の妥当性	ii 有効性	iii 公平性	iv 効率性	v 総合評価
					6精査・検証
③上記評価の理由	生活保護制度は国の制度であり、また生活保護世帯の増減は、景気の状態をそのまま反映するため、市としてコントロールすることは難しい。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績		当初		H24からの繰越
		0		
③達成状況		補正		0
		0		現年分
④未完了・非着手の理由				
平成26年度への繰越額(単位:千円)				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	特定健康診査等に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		国保	8	1	1	
政策	11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	担当課室	健康増進課			
施策	115安心して暮らせる社会保障の充実	担当課室長	菅井智美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	健診未受診者対策として受診勧奨はがきの郵送。指導未利用者対策として、訪問の実施。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	特定健康診査受診者に対する糖尿病重症化予防。受診勧奨値を呈した者については、未受診者を確認し継続フォローを実施する。
②①に基づく取り組み結果	受診勧奨はがき送付により、11月から12月の受診者が増加した。指導については、訪問により初回面接利用につながった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	国民健康保険被保険者。	意図(対象をどうするのか)	生活習慣を改善し疾病を予防する。
②事務事業の概要	年1回特定健康診査を実施。結果により、生活習慣病のリスクが高い人への特定保健指導と受診勧奨値を呈した人への受診勧奨を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生活習慣病に起因する医療費は増加傾向であり、発症予防と重症化予防を図ることが求められている。自己負担金1000円の無料化を要望する市民の意見あり。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	特定健康診査受診者が微増した。特定保健指導未利用者への訪問では一部保健指導実施につながった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	特定健康診査受診率	29.5	30.1	31	%	業務取得(ヘルスエコ4/30)
	ii	特定保健指導利用率	28.4	22.2	25.5	%	業務取得(ヘルスエコ4/30)
	iii	1人当たりの医療給付費	226	235	-	千円	国民健康保険の概要
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	68,971	74,720	金額(千円)	内容		88,183	
国支出金(千円)	13,521	13,858	59,995	健康診査業務委		71,033	
県支出金(千円)	13,521	13,858	10,605	臨時・非常勤賃金		11,809	
市債その他(千円)	0	0	0			0	
一般財源(千円)	41,929	47,004	0			0	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	受診率は目標値に届かず、医療給付費の減少は見られていないことから、未受診者対策を継続し、健診受診者の事後指導を医療費削減につながるよう実施する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法律で定められた健診であり、効果を精査・検証しながら進めていきたい。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					